發育概評決定標準表（抄）（十五年以下ヲ略ス）

年齢	男 身長	男 體重	男 身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
十六年	一五二・七	四四・五	〇・二九一
十七年	一五七・〇	四八・二	〇・三〇七
十八年	一五九・一	五〇・七	〇・三一九
十九年	一六〇・三	五二・六	〇・三二八

附則

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一八、行幸啓ノ節學生生徒敬禮方（明治四十三年文部省訓令第十八號）

一、武裝携銃ノ場合

學校長及職員ハ全隊ノ右翼ニ指揮者ハ各中隊ノ右翼ニ位置シ豫メ劍ヲ銃ニ裝セシメ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ中隊ノ右翼約十歩ニ近キタルトキ「捧銃」ノ號令ニテ一齊ニ捧銃ヲナサシメ御車カ中隊ノ左翼約十歩ヲ過キタルトキ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ中隊ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

二、武裝セサル場合（女生徒ヲ含ム）

學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脫帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ（體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム）「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

◎附錄

一、靜岡高等學校校友會會則

一、總則

第一條　本會ハ靜岡高等學校校友會ト稱ス

第二條　本會ハ本校訓育ノ方針ニ基キ會員相互ノ情誼ヲ厚クシ心身ヲ修練シ以テ善良ナル校風ヲ振作スルヲ目的トス

第三條　本會ニ左ノ各部ヲ置ク

辯論部、文藝部、劍道部、柔道部、野球部、庭球部、蹴球部、陸上競技部、水泳部、山岳部、弓道部、卓球部、籠球部

會員ハ均シク各部ノ部員タリ

第四條　本會ハ本校職員生徒ヲ以テ組織シ職員ヲ特別會員生徒ヲ普通會員トス舊職員及卒業生ハ賛助會員トス

第五條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會　長　一名　本校長ヲ推戴ス

副會長　一名　特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

部　長　各部一名　特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス但代議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

副部長　必要ナル場合一部一名　特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑スルコトヲ得但代議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

理　事　文科理科各一名　各科別ニ普通會員ノ選擧ニ基キ會長之ヲ委囑ス但委員代議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

幹　事　必要ナル場合文科理科各二名以内　理事ノ推薦ニ基キ會長之ヲ委囑ス但委員代議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

委　員　各部各組一名　該組普通會員ノ互選ニ基キ會長之ヲ委囑ス但他部委員代議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

文藝部ニ限リ必要止ムヲ得サル場合會長ハ三名以内部長ノ推薦ニ基キ別ニ委員ヲ委囑スルコトヲ得　本項ノ委員ハ主務委員ノ互選ニ加ハラス

主務委員　各部一名　各部委員ノ互選ニ基キ會長之ヲ委囑ス

代議員　特別會員中ヨリ五名普通會員中ヨリ各組二名夫々互選ニ基キ會長之ヲ委囑ス

書　記　二名　特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

第六條　役員ノ任務ハ左ノ如シ

會長ハ本會ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シテ本會ノ總務ヲ司リ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

部長ハ其ノ部ヲ監督ス

副部長ハ部長ヲ輔佐シ部長事故アルトキハ之ヲ代理ス

理事ハ副會長ノ下ニ總務ニ從事シ且主務委員會ニ列ス

幹事ハ理事ヲ輔ケ其ノ事務ヲ行フ

委員ハ夫々部長ノ下ニ部委員會ヲ組織シ其ノ部ノ事務ヲ處理ス

主務委員ハ夫々部委員會ヲ代表シ且主務委員會ニ列ス

代議員ハ會員ヲ代表シテ代議員會ニ列ス

書記ハ庶務會計及記錄ノ事務ニ從事ス

第七條　理事委員代議員ノ任期ハ十月一日ヨリ翌年九月三十日迄トス

第八條　役員選擧ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第九條　代議員會ハ代議員ヲ以テ組織ス

第十條　代議員會ノ議決スヘキ事項左ノ如シ

一　豫算ノ協贊

二　決算ノ承認

三　特別委員會ノ設置及解散

四　會則ノ改正

五　其ノ他會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十一條　代議員會ハ所定ノ手續ニ依リ本會ノ運用ニ關シテ建議スルコトヲ得

第十二條　代議員會ハ會長之ヲ召集ス

代議員會ノ召集ハ議スヘキ事項ヲ附シテ少クトモ三日以前ニ發表スルモノトス

第十三條　理事代議員會議長又ハ代議員四名以上若ハ會員四十名以上ハ代議員會ノ召集ヲ請求スルコトヲ得

第十四條　代議員會ノ召集ヲ請求セントスル者ハ豫メ議案ヲ會長ニ提出スヘシ

第十五條　代議員會ハ議員定數ノ二分ノ一以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス

第十六條　代議員會ノ議事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニヨル

ル

第十七條　代議員會ノ議事ハ豫メ發表シタル事項以外ニ亘ルコトヲ得ス

第十八條　代議員會ノ議決ハ會長ノ認可ヲ得テ効力ヲ生ス

第十九條　副會長部長理事主務委員ハ代議員會ニ出席シ關係事項ニ付キ發言スルコトヲ得但表決ニ加ハラス

第二十條　會員ハ代議員會ヲ傍聽スルコトヲ得

第二十一條　代議員會ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二十二條　主務委員會ハ理事及主務委員ヲ以テ組織シ理事一名ハ其ノ議長トナル

第二十三條　主務委員會ハ各部事務ノ連絡及統制ヲ協議スルモノトス

第二十四條　主務委員會ノ議ニ付スヘキ事項左ノ如シ

一　豫算案ノ作成

二　決算報告書ノ作成

三　豫備費ノ支出

四　其ノ他理事必要ト認メタル事項

第二十五條　主務委員會ハ理事之ヲ召集ス

第二十六條　主務委員會ハ定數ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決ヲナスコトヲ得ス其ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニヨル

第二十七條　主務委員會ノ議決ハ直ニ副會長ニ報告スヘシ

第二十八條　各部ハ本會則ニ反カサル限リニ於テ內規ヲ設ケ主務委員會ノ承認ヲ得テ之ヲ發表スヘシ

第二十九條　本會ニ於テ特別ノ事業ヲ行フニ當リ必要ニ應シテ特別委員會ヲ設クルコトヲ得

第三十條　特別委員會ノ組織及事業ハ理事原案ヲ作リ代議員會ノ議ニ付スヘキモノトス

第三十一條　特別委員會ハ副會長之ヲ監督ス

第三十二條　特別委員會ハ其ノ事業終了シタル後之ヲ代議員會ニ報告シ其ノ承認ヲ得テ解散ス

第三十三條　本會ノ經費ハ會員ノ會費、入會金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第三十四條　普通會員ノ會費ハ年額金拾壹圓トス

普通會員ハ入學ノ際入會金トシテ金五圓卒業ノ際贊助會費トシテ金五圓ヲ納付スヘシ

特別會員ノ會費ハ別ニ之ヲ定ム

第三十五條　贊助會費ハ本會ノ基本金ニ充ツルモノトス

第三十六條　本會ノ會計年度ハ毎年十月一日ニ始リ翌年九月三十日ニ終ル

第三十七條　本會ノ歳入歳出ハ毎年豫算ニ計上スヘシ

第三十八條　會計ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十九條　本會々則ノ改正ハ會長之ヲ必要ト認メタル場合又ハ理事若ハ代議員六名以上若ハ會員六十名以上ノ請求アリタル場合ニ於テ所定ノ手續ニ依リ代議員會ノ議ニ付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ代議員會ハ其ノ定數ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルニ非サレハ改正ノ議決ヲナスコトヲ得ス

二、會計細則

第一條　會費入會金其ノ他一切ノ收入ヲ歳入トシ一切ノ經費ヲ歳出トス但普通會員ノ會費ハ十月ヨリ翌年三月迄ヲ金五圓、四月ヨリ九月迄ヲ金六圓ト區分シテ計上スヘシ

第二條　普通會員ノ會費ハ年額十一圓ヲ第一學期授業料ト共ニ本校會計課ニ納付スヘシ

入會金ハ第一學期授業料ト共ニ本校會計課ニ納付スヘシ

普通會員ハ卒業ノ際贊助會費ヲ本校會計課ニ納付スヘシ

會費納付期限前ニ休學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ學年ノ會費ヲ免除ス

既納ノ會費及入會金ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第三條　各部ハ豫算案作製ニ要スル各部豫算原案ヲ九月三十日迄ニ理事ニ提出スヘシ

第四條　豫算案ハ理事原案ヲ査定シ主務委員會ニ於テ之ヲ作製シタル後代議員會ノ協賛ヲ經ヘシ

第五條　主務委員會ニ於テ豫算ニ關スル代議員會ノ議決ニ對シ再議ヲ求ムルコトヲ得

理由ヲ附シ代議員會ノ再議ヲ求ムルコトヲ得

再議ノ結果ニ關シ尚承服シ難キ場合ハ會長之ヲ決ス

第六條　豫算ヲ別チテ豫備費總務費各部費トス

第七條　豫算ニ於テハ歳入總額ノ百分ノ三以上百分ノ六以内ヲ豫備費トシテ計上スヘシ

第八條　豫備費ハ避クヘカラサル豫算ノ不足又ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費途ニ充ツルモノトス

其ノ費途及金額ハ理事原案ヲ作成シ主務委員會ノ議ニ付シ直ニ代議員會議長ニ通告スヘシ但金額五拾圓ヲ超ユル場合ニ於テハ代議員會ノ議ニ付スルコトヲ要ス

第九條　歳入ノ不足カ豫備費ヲ以テ補充スルコトヲ得サル場合ニ於テハ總務費各部費中ヨリ按分シテ補充セシム

第十條　歳入超過額ハ凡テ之ヲ豫備費ニ繰入ルヘシ

第十一條　總務費ヲ分チテ中央費年中行事費選手派遣補助費トス

選手派遣補助費ハ歳入總額ノ百分ノ六ヲ超ユルヲ得ス

第十二條　既定豫算ノ變更ヲナサントスルトキハ代議員會ノ議決ヲ經ヘシ

第十三條　理事及各部ハ年度末ニ於テ決算報告書ヲ作成シ代議員會ノ承認ヲ受クヘシ

第十四條　各年度ニ於テ豫備費總務費各部費ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第十五條　豫算ニ於テ特ニ明許シタルモノ及年度內ニ終ルヘキ工事又ハ物品ノ購入若ハ運搬ニシテ避クヘカラサル事故ノ爲ニ竣工又ハ納入若ハ運搬ヲ遲延シ其ノ年度內ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第十六條　物件ノ購入修理若ハ營繕ヲナシ又ハ旅費報酬ヲ支拂ハントスルトキハ豫算ノ範圍內ニ於テ理事又ハ委員ハ所定ノ請求簿ニ請求月日、品目、數量、單價、金額、供給者、請負者其ノ他必要事項ヲ記入シ副會長又ハ部長ノ檢印ヲ經テ之カ手續ヲナシ每月二十五日副會長又ハ部長ヨリ會計書記ニ提出スヘキモノトス

會計書記ハ前項ノ請求簿ニ依リ直ニ之カ支拂ヲナスヘシ但現金支拂ノ必要ヲ生シタル場合ハ隨時之ヲ支拂フモノトス

第十七條　理事又ハ委員ハ副會長又ハ部長ノ許可ナクシテ物件ノ供給若ハ請負ヲナサシメ又ハ事項ヲ依賴スルコトヲ得ス

第十八條　他地方ヘ出張ノ上支拂ヲ要スルモノハ第十六條第一項ノ手續ヲ履ミ其ノ都度概算拂ヲ請求シ歸校後十日以內ニ之カ精算ヲナシ證憑書ヲ添ヘ會計書記ニ提出スヘシ

第十九條　請求簿ハ副會長又ハ部長之ヲ管理ス

第二十條　理事及各部ハ所定ノ物品原簿ヲ備ヘ物品及消耗品ノ品目數量等ヲ記載シ其ノ物件保管ノ責ニ任スルモノトス

第二十一條　副會長理事又ハ部長主務委員ハ夫々立會ノ上二月、九月ニ於テ物品原簿ニ基キ所管物件ノ檢查ヲ行フモノトス

第二十二條　備品使用ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ副會長又ハ部長ノ許可ヲ得テ廢棄處分又ハ賣却ニ附スルコトヲ得但シ賣却ニ依リ生シタル金額ハ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヽモノトス

第二十三條　會計書記ハ所定ノ收入支出內譯簿及支出內譯簿ヲ備ヘ收支ヲ明ニスヘシ

三、役員選擧細則

第一條　總テ選擧手續ハ副會長ノ指示ヲ受ケ理事之ヲ行フ

第二條　次期役員ノ選擧ハ每年九月十日ヨリ九月二十五日迄ノ間ニ於テ之ヲ行フ

第一學年ニ於ケル役員ノ選擧ハ五月之ヲ行ヒ九月改選ス

第三條　理事選擧ハ左ノ如ク之ヲ行フ

一　候補者ハ普通會員ノ推薦ニ依ル

二　候補者ヲ推薦セントスル時ハ十名以上ノ連署ヲ以テ副會長ニ屆出ツル事

三　普通會員ハ候補者中ヨリ各科別ニ理事ヲ選擧スルコト

四　單記無記名投票ニ依ル

五　候補者一名ナル時ハソノ科ノ選擧ハ之ヲ省略ス

第四條　代議員選擧ハ左ノ如ク之ヲ行フ

一　理事選擧後各組普通會員ハ代議員二名ヲ互選ス

二　無記名投票ニ依リ候補者二名以下ヲ記入スルコト

第五條　委員選擧ハ左ノ如ク之ヲ行フ

一　代議員選擧後各組普通會員ハ各部委員一名ヲ互選ス

二　各部委員ハ同時ニ之ヲ選擧ス

三　單記無記名投票ニ依ル

四　二部以上ノ委員ニ當選シタル者ハソノ一ヲ選フモノトス

他ノ部ノ委員ハ再選擧ニ依リ之ヲ定ム

第六條　主務委員ノ選擧ハ左ノ如ク之ヲ行フ

一　委員選擧後各部次期委員ハ其ノ部ノ主務委員ヲ互選ス

二　單記無記名投票ニ依ル

第七條　理事ハ開票ニ關スル事務ヲ各組代議員又ハ各部主務委員ニ委囑スルコトヲ得

第八條　前條ニ於テ代議員缺席又ハ缺員ノ場合ハ理事ハ該組普通會員ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第九條　總テ選擧ニハ二名以上ノ立會人ヲ要ス

第十條　立會人ハ各組普通會員（主務委員選擧ニ於テハ該部委員）中ヨリ之ヲ定ム

第十一條　同點者アル場合ハ決選投票ヲ行フ更ニ同點ナル時ハ抽籤ニ依リテ之ヲ定ム

第十二條　理事代議員委員及主務委員ニ缺員ヲ生シタル場合ハ補缺選擧ヲ行フ

四、代議員會細則

第一條　代議員會ハ代議員選擧後五日以內ニ議長副議長各一名ヲ互選スヘシ

第二條　議長副議長ノ選擧ハ無記名投票トシ同點者アル場合ハ決選投票ヲ行フ更ニ同點ナルトキハ抽籤ニ依リテ之ヲ定ム

第三條　議長副議長ハ會長之ヲ委囑ス

第四條　議長副議長ノ委囑セラルヽマテハ理事一名議長ノ職務ヲ行フ

第五條　議長ハ議場ノ秩序ヲ保持シ議事ヲ整理シ代議員會ヲ代表ス

第六條　會議ニ於テハ議長ノ許可ヲ得タル後發言スルモノトス

第七條　議長ハ必要ナル事項ニ付會員ニ於テ關係者ヲシテ說明セシムル事ヲ得

第八條　議長ハ議事整理上必要アリト認メタルトキハ發言ヲ取消サシメ又ハ之ヲ制止シ又ハ之ヲ禁止スルコトヲ得

第九條　議長事故アルトキハ副議長之ヲ代理ス

第十條　議案ニ關シ動議ヲ提出スルモノアルトキハ一人以上ノ贊成アルニアラサレハ議題トナスコトヲ得ス

第十一條　會議ノ結果ハ直ニ議長之ヲ會長ニ報告スヘシ

附　則

從來ノ會則及之ニ附屬スル決議事項ハ其ノ効力ヲ失フ

二、靜岡高等學校校友會役員（昭和十年五月末日現在）

會　長　校長　金子健二

副會長　教授　川瀨光順

辯論部長　生徒主事兼教授　佐々木順三

文藝部長　教授　松崎祐存

同　副部長　教授　稻村松雄

劍道部長　教授　鞊原龍藏

柔道部長　教授　辻善定

野球部長　教授　永井順

庭球部長　教授　齋藤久雄

蹴球部長　教授　金原壽郎

陸上競技部長　教授　木村秀夫

水泳部長　教授　志田晴雄

山岳部長　教授兼生徒主事　櫻井和市

弓道部長　教授　池上克巳

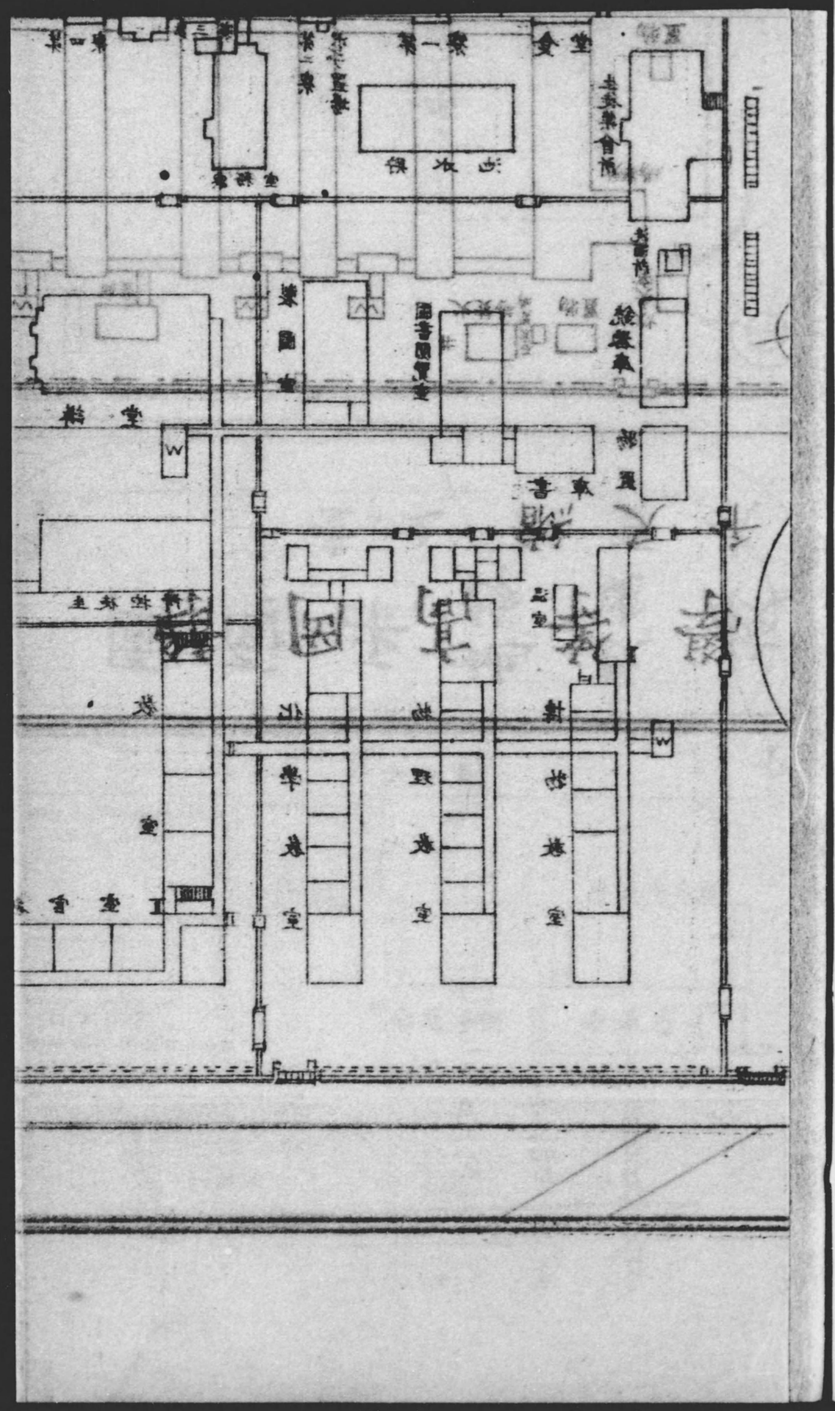
卓球部長　教授　久澤泰穩

籠球部長　教授　岡田弘

代議員　教授　湯淺豊五郎

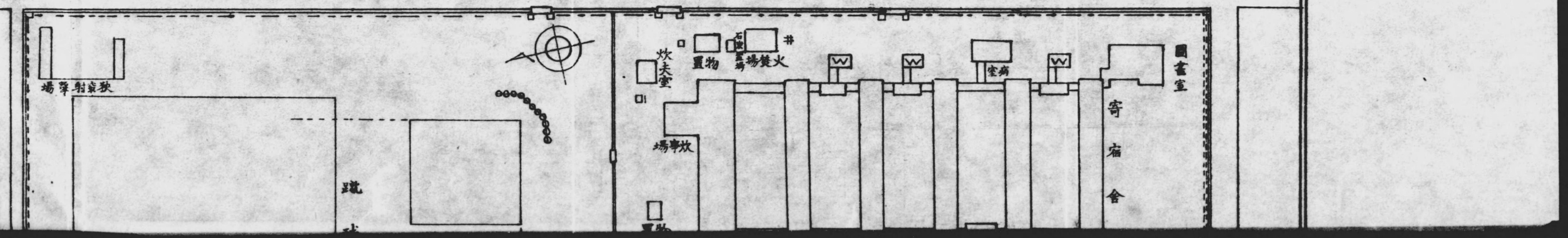
同　教授兼生徒主事　田中經太郎

同　本田弘人


第一教室
食堂
生徒集會所
小使室
裝飾室
圖書閱覽室
給食室
職員室
教室
教室
教

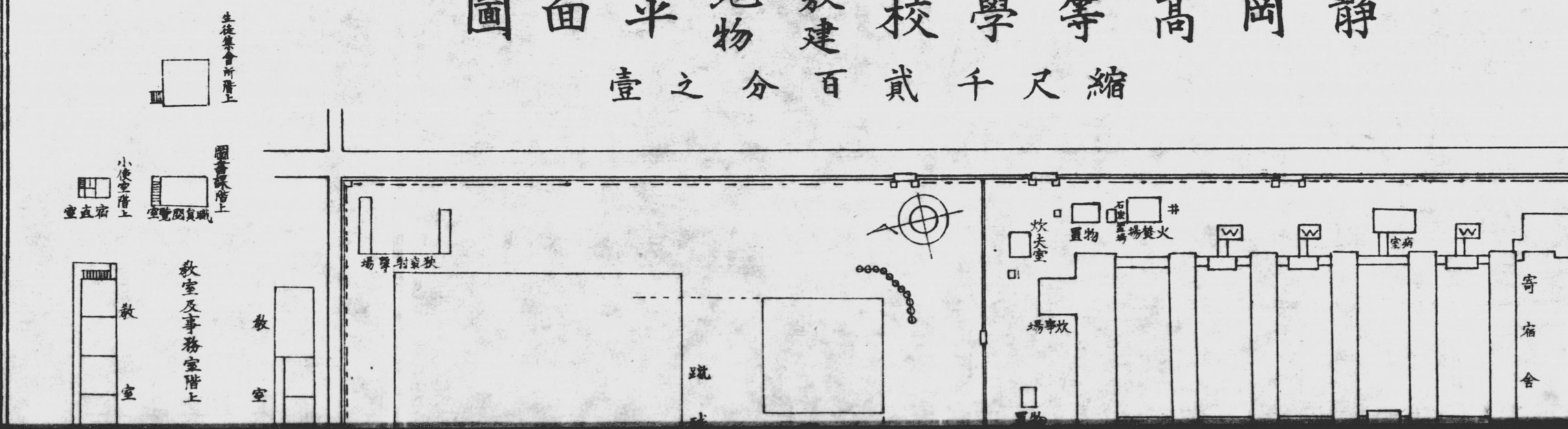
靜岡高等學校敷地建物平面圖

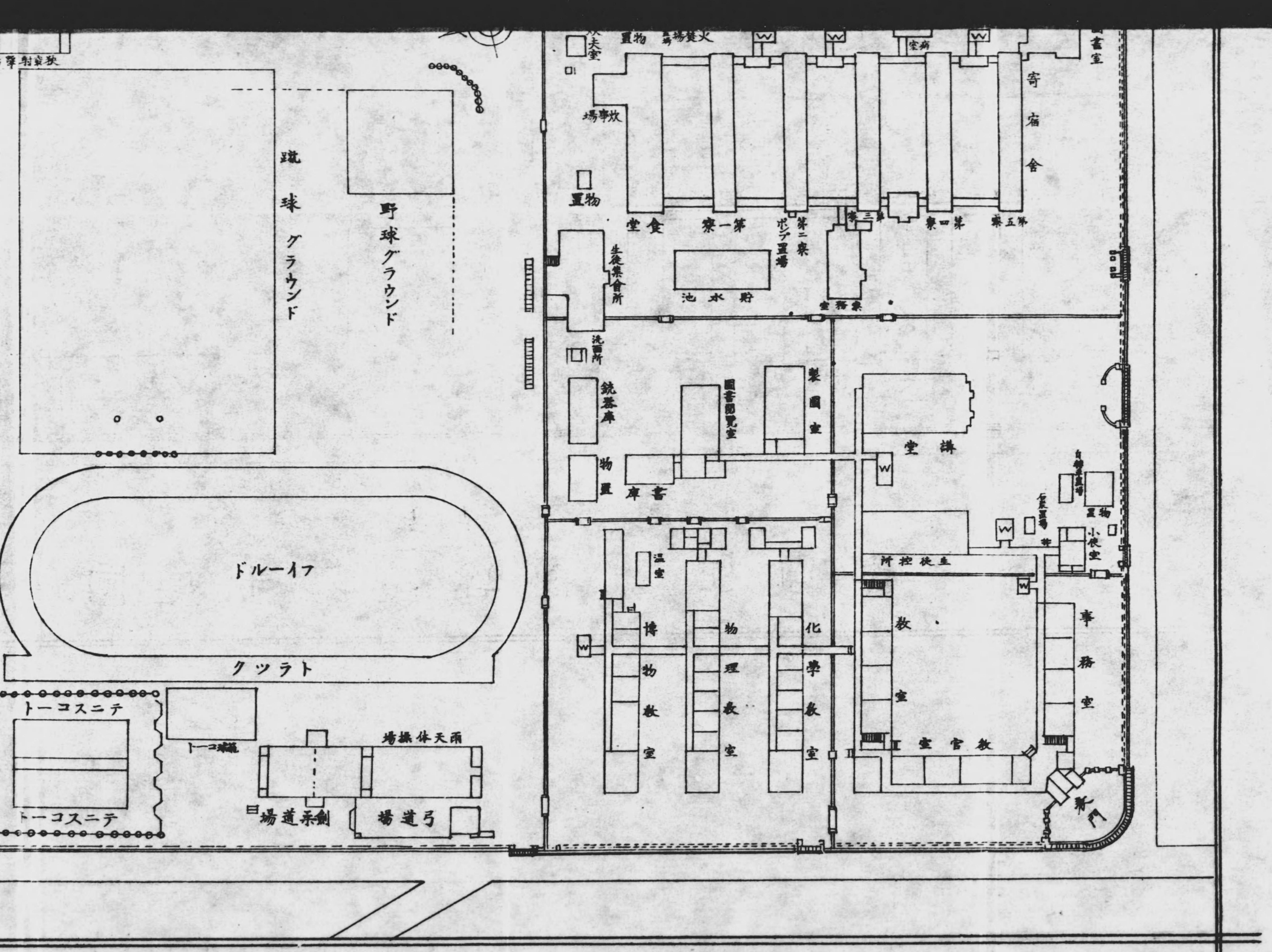
縮尺千貳百分之壹



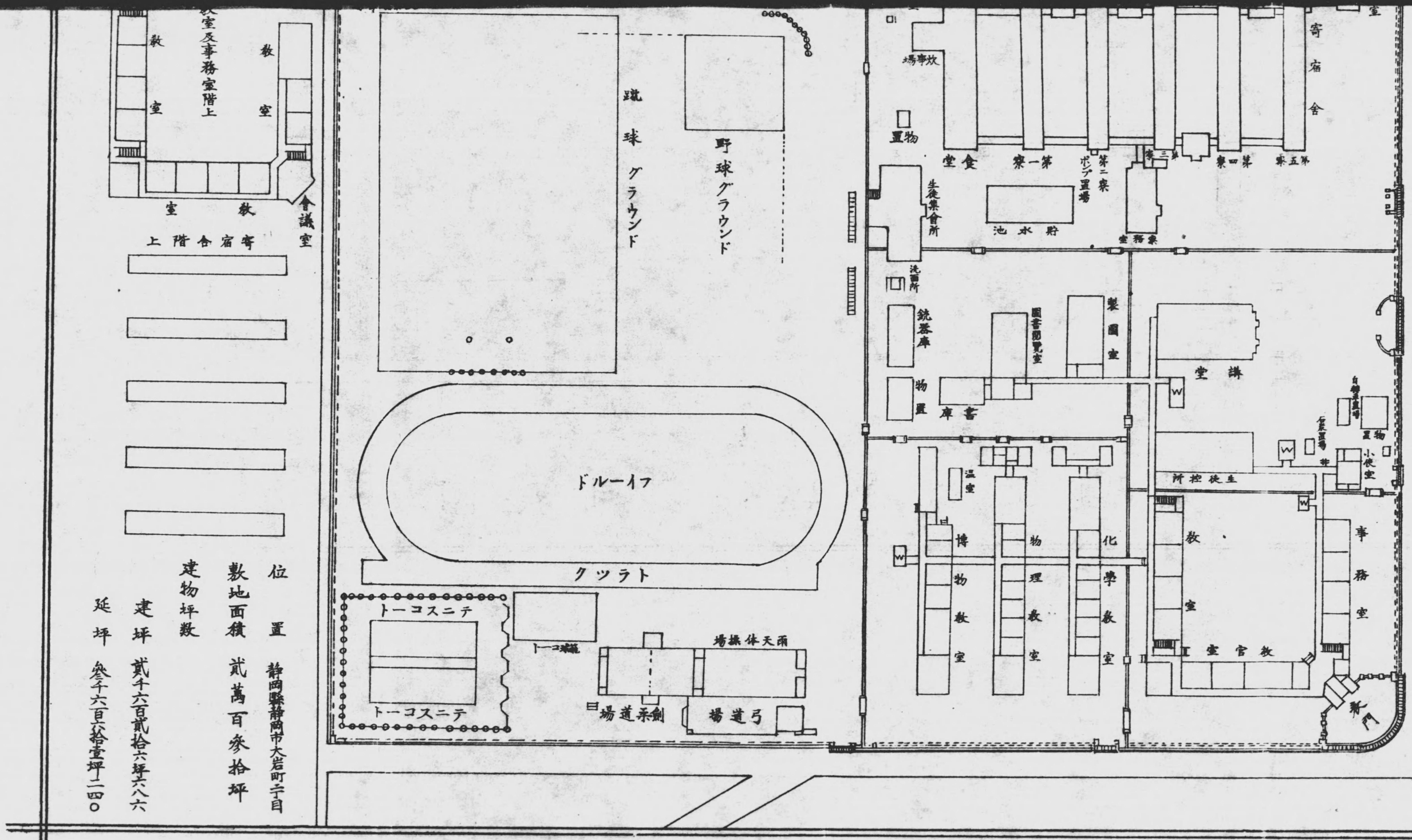
靜岡高等學校敷地建物平面圖

縮尺千貳百分之壹





狭窄射撃
蹴球グラウンド
野球グラウンド
ドルーイフ
クツラト
トーコスニテ
トーコスニテ
トーコ球籠
雨天体操場
劍柔道場
弓道場
火焚場
物置
炊事場
物置
食堂
第一寮
第二寮
ポンプ置場
第三寮
第四寮
第五寮
病室
寄宿舎
圖書室
生徒集會所
貯水池
事務室
洗面所
銃器庫
物置
圖書閲覧室
製圖室
書庫
講堂
温室
博物教室
物理教室
化學教室
生徒控所
教室
教官室
事務室
小便室
物置



位置　靜岡縣靜岡市大岩町二丁目

敷地面積　貳萬百參拾坪

建物坪數

建坪　貳千六百貳拾六坪六八六

延坪　參千六百六拾壹坪二四〇

283
42

昭和十年六月廿六日印刷
昭和十年七月一日發行

靜岡市大岩町二丁目

靜岡高等學校

電話（本校一七六三番 寄宿寮一九二〇番）

靜岡市大岩町二丁目六番地
印刷者 佐藤音次郎

靜岡市大岩町二丁目六番地
印刷所 勉強堂印刷所

電話二一九六番

파 5K 15